

雨の天城山



2018年冬 雨の天城山(万三郎岳1405m)

日時：2018年12月23日(日)

メンバー：福澤卓三

コースタイム

12月21日(曇り) 横浜スーパー踊り子7号(13:24)－伊東(14:41) ホテル9100円

12月22日(雨) 伊東ステイ ビジネスホテル6000円

12月23日(小雨)

伊東(7:55)－四辻(8:40)－万二郎岳登山口(9:18)－(10:15)万二郎岳(10:25)
－馬の背(10:45)－(11:45)万三郎岳(12:00)－涸沢分岐点(12:20)－
万二郎岳登山口(14:10)－(14:35)四辻(15:15)－伊東(16:35)－板橋(19:15)



バス停



天城縦走路入口

12月23日

21日に家を出て、22日に登るつもりでいたが、天気予報が芳しくなく、もう一日ビジネスホテルに予約を取ってステイした。しかし今日も天気は悪く天城高原のバス停についた時には、雨が降っていた。雨具を出して出発。それにしてもずいぶん高いところにゴルフ場があるもんだ。登山客は雨のせいか、自家用車で来た人も含めて50名くらいで思ったより人数が少ない。

一番高い万三郎岳(1405m)と万二郎岳(1299m)で天城山とよばれている。海に近い割には高度もあるが、登山口もかなり高く(1050m)登る高度はさほどでもない。この縦走路の先は天城峠まで続いているが最終のバスが17時過ぎまであり頑張れば行かれないことはないが、リスクや雨を考えて、万三郎岳まで行き、少し下ってトラバスルートから同じところに戻ってくるルートを選んだ。南北のアルプス



万二郎登山口

程厳しくないが、伊豆にもあまり来る機会もなく、知らないところがいっぱいあってそれはそれで楽しい。またビジネスホテルも温泉で、天幕しか知らない山男には天国である。登山口から20分ほど下り四辻で直登ルートとトラバスルートにわかれる。登山道は石が多く、樹林帯のなかにある。上に行くに従い石は少なくなる

1ピッチで万二郎岳についた。見晴らしは灌木帯の中にあり悪い。雨のせいでゆっくり休む気にならない。写真を撮ってすぐに出発。



少し下っていくと馬の背につく。そこから穏やかな登りが、1ピッチ程続いて、一番高い万三郎岳に到着。頂上は10m四方では20人ほどいた。雨で視界は悪いが、晴れていても、ここも見晴らしは良くない。

あまりエネルギーも使っていないせいもあるが、雨で快適でなく食事も取る気がしない。ここも写真を撮って下山にかかる。来るときは駿河湾やでっかい富士山がみられると思っていたが残念だ。歌の文句の伊豆の山々も見なかったがみられない。



万三郎岳頂上(1405m)



万三郎岳頂上



万三郎岳頂上

頂上から天城峠方面へ向かい下っていくと、瀬沢分岐点に出て、天城峠方面と天城高原の分岐の瀬沢分岐点にでる。

ここから天城峠や天城隧道方面と、天城高原に戻るトラバSRルートに分かれる瀬沢分岐点にでる。ここから天城高原までの登山道は下りばかり続くトラバスかと思いきや、上り下りのある、中腹をまくような登山道で苔むした石がゴロゴロある。途中にとこどころあるえぐられた登山道は雨で水たまりになり、避けて通った。材木で整備されているが長い間使用しているのかだいぶあるきづらくなっている。

2ピッチ弱で万二郎岳への登山口にでた。そこからはバス停までは25分で到着した。バスの発車時間まで30分ほどあるが、着替えは伊東駅のコインロッカーに入れてきたので濡れた衣服で寒かった。しかしバスに乗ってからは乗り継ぎが良くバス停から4時間で我が家についた。

天城峠と天城隧道あたりの散策は老後の楽しみにしよう。

